科目名	AIビジネス戦略							年度	2026
英語科目名	AI Business Strategy							学期	後期
学科・学年	ＡＩシステム科 ２年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	妹尾　彩子		教員の実務経験		有	実務経験の職種		研修講師	

【科目の目的】

企業の実例をケーススタディとして学び、AIを利用したビジネスモデルを創造する。

【科目の概要】

主にAI活用の事例・実例をを示しながら授業を実施していく。授業内容によっては指示された内容の調査、まとめ、発表資料の作成を行い、クラス内での発表を行う。調査には各自ノートPCを使用する。調査、まとめ、発表は個人もしくはグループで実施する。

【到達目標】

AIの活用により解決できること、新しい価値を創出することを事例から学び理解する。
AIを利用したビジネスモデルを構築するプロセスを理解する。

【授業の注意点】

この授業では、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。
授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル４ よい	レベル３ ふつう	レベル2 あと少し	レベル１ 要努力
到達目標 A AIの活用事例を理解する	・幅広いAI活用事例について深く理解しており、それらを具体的なビジネス課題に適用できる。 ・AIの活用による新しい価値創造や業界変革について把握している。	・複数の具体的なAI活用事例について深く理解しており、それらを詳細に説明できる。 ・AIの活用事例がどのようにビジネス戦略に組み込まれているかを認識している。	・複数の異なるAI活用事例について理解しており、それらを一般的な言葉で説明できる。 ・AIがどのようにビジネスや社会に影響を与えているかについて認識している。	・AIの活用事例の一般的な概念を理解しているが、詳細は限られている。 ・AIの活用の一般的な利点について基本的な理解がある。	・AIの活用事例についてほとんど理解していない。 ・AIの活用がどのような価値を持つのかを把握していない。
到達目標 B ビジネスモデルの構築プロセスを理解する	・ビジネスモデルの構築プロセスを詳細に理解しており、実際のビジネス事例に適用できる能力がある。	ビジネスモデルの構築プロセスを詳細に理解しており、具体的な事例を挙げて説明できる。	ビジネスモデルの構築プロセスの異なるステップや要素について理解しており、それを順序立てて説明できる。	・ビジネスモデルの構築プロセスの基本的なステップや要素を一般的に理解している。 ・ビジネスモデルの構築がどのように行われるかについて簡単に説明できるが、詳細は限られている。	・ビジネスモデルの構築プロセスについて理解していない。 ・ビジネスモデルの重要性や役割について認識が不足している。

到達目標 C 事例調査と情報収集のスキルを向上させる	事例調査や情報収集の専門的な手法を熟知し、幅広い情報源から包括的な情報を収集できる。	事例調査や情報収集の高度な手法を理解し、複雑な情報源から必要な情報を抽出できる。	・事例調査や情報収集の手法やプロセスを理解しており、適切な情報源を見つけるスキルを持っている。 ・複数の情報源から情報を収集し、関連性のあるデータを整理して分析できる。	事例調査や情報収集の基本的な手法を一般的に理解している。	事例調査や情報収集に関する基本的な方法やスキルを理解していない。
到達目標 D 自主的な学習とチームワークの促進	・自主的な学習とチームワークの重要性を深く理解し、高いレベルで実践している。 ・課題やプロジェクトに対して独自のアイディアや解決策を提案し、チーム全体の成果に大きく貢献している。	・自主的な学習やチームワークの重要性を深く理解し、積極的に実践している。 ・課題やプロジェクトに取り組みつつ、他のメンバーをサポートし、協力関係を築いている。	・自主的な学習やチームワークの重要性を理解し、努力して実践している。 ・授業やプロジェクトにおいて、他のメンバーとの協力や貢献が進んでおり、チームとしての成果に貢献している。	・自主的な学習やチームワークの重要性を一般的に理解しているが、十分に実践していない。 ・授業やプロジェクトにおいて、他のメンバーとの協力や貢献を試みているが、まだ十分ではない。	・自主的な学習やチームワークの重要性を理解しておらず、積極的に関与していない。 ・授業やプロジェクトにおいて、他のメンバーとの協力や貢献が不十分である。
到達目標 E AIアプリケーションの知識	AIアプリケーションの広範な知識を持ち、複数の領域での応用について説明できる。	AIアプリケーションに関する詳細な知識を持ち、応用方法を具体的に説明できる。	AIアプリケーションに関する基本的な知識をしっかりと理解している。	AIアプリケーションに関する基本的な概念を理解しているが、詳細な知識は限定的である。	・Iアプリケーションに関する基本的な知識が不足しており、理解していない。 ・AI技術やアプリケーションについての説明や事例について理解できない。

【教科書】

【参考資料】

無し

【成績の評価方法･評価基準】

以下の事項を総合的に評価する。
･課題の提出状況、課題から判断する授業理解度、授業出席率、授業への参加態度

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名	AIビジネス戦略	年度	2025
英語表記	AI Business Strategy	学期	後期

回数	授業テーマ	各授業の目的		授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	ガイダンス	ビジネスにおけるAIの重要性を知り、学習することの意義を理解する	1	AIの基本理解	AIの基本的な概念や技術、応用分野について理解する。	2	
			2	ビジネスへの応用	具体的なビジネス事例や成功例を通じて、AIが業務プロセスや戦略にどのように貢献できるかを理解する		
			3	倫理・社会的側面	AI導入に伴う倫理的・社会的課題や影響を学び、バランスの取れたAI活用の重要性を理解する		
2	画像認識	「画像認識」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	画像認識の基本概念	画像認識技術の基本的な概念や仕組み、アルゴリズムについて理解する	2	
			2	実生活の事例	身近な例を通じて画像認識の実用的な場面を理解する。		
			3	画像データの扱い方の学習	画像データの基本的な特徴や形式について学び、コンピューターでどのように処理するかを理解する。		

3	画像認識	「画像認識」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	異なる業界の事例の探索	医療、農業、製造業など異なる業界での画像認識の事例を調査し、その活用方法について理解できる	2	
			2	画像認識のメリット	画像認識が業務やサービスの向上にどのような利点をもたらすかを理解する。		
			3	倫理的・プライバシーの問題	画像認識の使用に伴う倫理的な問題やプライバシーの懸念を考えることで、技術活用の範囲を理解する。		
4	音声認識	「音声認識」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	音声認識の基本概念	音声認識技術の基本的な仕組みやアルゴリズムを理解する。	2	
			2	実際の応用事例	日常生活での音声認識の活用事例を理解する。		
			3	音声データの扱い方	音声データの特徴や形式について学び、コンピューターでどのように処理するかを理解する。		
5	音声認識	「音声認識」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	異なる業界の活用例	カスタマーサポート、健康管理、自動運転など、異なる分野での音声認識の活用例を調査し、その重要性を理解する	2	
			2	音声認識の利点	音声認識がビジネスや日常生活の効率向上にどのような利点をもたらすかを理解する。		
			3	倫理的・プライバシーの考慮	音声データの収集や使用に伴う倫理的な問題やプライバシーの懸念について考え、適切な活用方法を理解する。		
6	自然言語処理	「自然言語処理」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	自然言語処理の基本	自然言語処理の基本概念を理解し、コンピューターが言語を処理する方法について基本的な概念を把握する	2	
			2	テキストデータの前処理の学習:	テキストデータを解析する前に必要なクリーニングや前処理方法を学び、データの準備の重要性を理解する		
			3	感情分析の例の調査	レビューサイトなどの感情分析事例を調査し、テキストから感情や意見を抽出する方法の重要性を学ぶ。		
7	需要予測	「需要予測」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	需要予測の基本	需要予測の基本的なアプローチとモデルを理解する。	2	
			2	過去のデータ分析	過去の売上や需要データを分析し、トレンドや季節性の影響を理解する		
			3	単純な予測モデルの作成	簡単な数学的手法やアルゴリズムを使用して、将来の需要を予測するモデルを作成する		
8	自然言語処理	「自然言語処理」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	テキスト分類の理解	テキストをカテゴリに分類するタスクの基本的なアプローチを理解し、ビジネス上での活用ポイントを考える。	2	
			2	FAQ自動応答の認識	ウェブサイトやアプリのFAQを自動的に応答する例を学び、カスタマーサポートの改善にどのように役立つかを理解する		
			3	倫理的な側面の考慮:	自然言語処理の技術を活用する際に生じる偏見や倫理的な問題について認識し、適切な対策を理解する。		
9	需要予測	「需要予測」をテーマに事例から学び、活用方法を理解できる	1	データの収集と整理	予測モデルのために必要なデータを収集し、整理する方法を理解する	2	
			2	モデルの評価	作成した予測モデルの精度を評価し、改善の余地があるかどうかを判断できる		
			3	需要予測の実用事例	小売業や製造業などの実際の需要予測事例を学び、ビジネスへの適用方法を理解する		
10	需要予測	「需要予測」をテーマに事例から学び、活用方法を理解でき	1	データ品質の重要性	良質なデータが予測の精度に与える影響を理解し、データのクリーニングの重要性を認識することができる	2	
			2	課題の特定と解決策の提案	需要予測に関する課題を特定し、改善策や対処法を考えるが出来る		

		る	3	ビジネスへの活用:	需要予測がビジネス戦略にどのように活用されるかを理解し、意思決定の補助としての役割を認識することが出来る		
11	ビジネスモデルの作成	AIを活用したビジネスモデルについてグループで話し合い・資料作成ができる	1	AI活用の理解	AIがビジネスモデルにどのように活用されるかの基本的な理解を得る。	2	
			2	グループディスカッションのスキル:	グループメンバーと協力して、AIを活用したビジネスモデルに関する意見やアイデアを共有し、議論できるスキルを磨く		
			3	資料作成	グループで話し合った内容をまとめて分かりやすい資料にまとめる能力を獲得し、他人に説明するための資料を作成できるようになる		
12	ビジネスモデルの作成	AIを活用したビジネスモデルについてグループで話し合い・資料作成ができる	1	グループディスカッションのスキル:	グループメンバーと協力して、AIを活用したビジネスモデルに関する意見やアイデアを共有し、議論できるスキルを磨く	2	
			2	資料作成	グループで話し合った内容をまとめて分かりやすい資料にまとめる能力を獲得し、他人に説明するための資料を作成できるようになる		
			3	事例の分析	実際の事例を通じて、AIを活用したビジネスモデルの成功要因や課題を分析し、洞察を得ることができる		
13	ビジネスモデルの作成	AIを活用したビジネスモデルについてグループで話し合い・資料作成ができる	1	グループディスカッションのスキル:	グループメンバーと協力して、AIを活用したビジネスモデルに関する意見やアイデアを共有し、議論できるスキルを磨く	2	
			2	資料作成	グループで話し合った内容をまとめて分かりやすい資料にまとめる能力を獲得し、他人に説明するための資料を作成できるようになる		
			3	事例の分析	実際の事例を通じて、AIを活用したビジネスモデルの成功要因や課題を分析し、洞察を得ることができる		
14	ビジネスモデルの発表	AIを活用したビジネスモデルについて発表ができる	1	発表	AIを活用したビジネスモデルの事例を通じて、その成功要因やメリットを理解することが出来る	2	
					AIの具体的な活用方法や技術を学び、どのようにビジネスモデルに組み込むかを理解する。		
					学んだ内容をまとめてわかりやすく発表する能力を養い、他人に伝える力を高める。		
15	授業の振り返り	演習結果について担当教員から学生に総評を伝え、振り返りを実施する	1	評価	演習課題の結果に基づいて担当教員から提供される評価やフィードバックを正しく理解する	2	
			2	改善点	担当教員からの評価やフィードバックを元に、自身の弱点や改善すべき点を特定し、次回の演習や課題に向けて計画を立てる		
			3	振り返りの実施	演習の成果と担当教員からの評価を基に、自身のアプローチや取り組み方を振り返り、今後の学習スタイルや戦略の見直しを行う。		
評価方法：1.小テスト、2.パフォーマンス評価、3.その他							
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった							
備考 等							